

地域と連携して進めるキャリア教育

～ 体験活動を軸として ～

美祢市立秋芳南中学校、秋吉小学校、下郷小学校、本郷小学校

キャリア教育の視点

秋芳南中学校区では、地域の教育力を活かし地域の方々と関わりを通して、ライフスキル技能を高めると共に、活動の意義や感謝の気持ちを高めることのできる活動を行っている。活動後には、振り返りを行い、キャリアアルバムに蓄積することで、自己肯定感が高まるようにしている。

【人間関係形成・社会形成能力】【自己理解・自己管理能力】【課題解決能力】

各校の体験活動

秋吉小学校

3年生以上が地域の方の指導を受けながら「草炎太鼓」に取り組んでいる。よりよい音を求めて自分の目標を立て、協働で一つの演奏を作り上げていく活動であり、活動を通して、自分の役割を果たすことやチームワークの大切さを体得することができている。また、秋吉台の山焼きや桜祭りなどで披露することで、ふるさとへの愛着を高めている。



11月には、「ふれあい学習」を実施している。地域の方の指導のもと、学年ごとに、「1



年 サツマイモを使ったおやつ作り」「2・3年 木の実を使った物づくり」「4年 茶道」「5年 餅つき」「6年 陶芸」を行っている。地域の多様な人々とかかわることで社会性や感謝の気持ちが育っている。特に5年生の活動は、春の苗植えから始まって、秋の稲刈り・脱穀と継続した活動であり、生産にかかわる苦労と収穫の喜びも共に学ぶことのできる活動となっている。

下郷小学校

■地域の方々から学ぶ農業体験

毎年、地域の方々に教えてもらいながら、ジャガイモやタマネギ、スイカ、そば作りを行っている。スイカ作りでは、収穫前にスイカをイノシシに食べられてしまうなど、自然の中でのスイカ作りの厳しさを体験することができた。また、3～6年生は、秋芳地区の特産物である梨作りや、田んぼを借りての米作りにもチャレンジした。大切に育てたじゃがいもやお米をいろいろな人に食べてもらおうと販売も行い、安心して、喜んで買ってもらえるように言葉をかけながら売ることができた。売ることの大変さと同時に買ってもらえた時の喜びも体験し、農業の大変さと働く楽しさを実感することができた。



■老人ホーム、デイサービスセンターの訪問

4～6年生は青景園に、1～3年生は秋吉デイサービスを訪問した。事前に訪問で何をするのかを各クラスで話し合い、練習や準備をした。当日は、音楽や国語で学習したことを発表したり、ゲームなどをして、たくさんふれ合うことができた。児童も出し物をしっかりやりとげ、お年寄りの方々に話しかけることもでき、お年寄りの方々に大変喜んでいただいた。



本郷小学校

■ふるさと子供ガイド

ふるさとに誇りをもちたくましく生き抜く子どもを育てるために、学年に応じてふるさとの教材に学び、いろいろな人に伝える学習活動を推進している。

低学年は、生活科の学習でサファリランドへ行き、動物の飼育体験をしている。中学年は梨づくりを体験し、秋吉台に伝わる伝承を学んでいる。高学年は、秋吉台での環境保全活動や秋芳洞で洞くつにすむ生き物の観察をしている。そうして学んだことを各自がまとめ、発表ボードを作り秋吉台でガイドをしている。子どもたちが地域の人々から学んだふるさとのすばらしさを、全国から訪れた観光客の方に伝えることにより、豊かな表現力や伝える喜びなど人間関係形成能力や社会形成能力が育っている。



秋芳南中学校

月1時間「つながりタイム」という時間を設定し、ソーシャルスキル学習に取り組んでいる。生徒同士につながりを持たせ、一人ひとりに自分の居場所を実感させ、集団全体での成長を期待している。

■郷土の特色を生かした体験活動

【森林体験学習】秋吉台に分布する植物について学習するとともに、身近な木材や竹がどのように利用されているかを学んでいる。

【立志式】ふるさと秋芳洞の中で、将来の夢や希望を語り、それぞれが志を立てている。

【火道切り】秋吉台の山焼きのための草刈作業をとおして、自分たちの学校のある地域への関心を高めている。

■郷土を愛する心を育てる取組

草炎太鼓の演奏を運動会で実施している。地域の伝統・文化に触れる体験活動を通してふるさとを愛する心や地域の文化のよさを尊重する態度を育てている。



■将来の生き方を考える取組

【職業講話】自分はどんな仕事に向いているのか、やりたいものは何なのかを考える機会としている。

【職場体験学習】勤労の尊さや意義を知り、職業に関する関心を高めている。

【卒業生に学ぶ会】自分の進路学習の取組を振り返り、主体的に適切な進路選択を確認している。

小中連携を深めるために

中学校から小学校へ教員が出向き、音楽、英語、理科、国語等の出前授業を実施している。中学校のサマースクールでは、小・中学校の教員と一緒に中学生の補充学習の指導を行っている。また、中学校の各学期の授業参観週間には、小学校の教員が中学校の授業を参観している。そして、小学校6年生は、秋芳南中学校でのオープンスクールに参加し、チャレンジ授業として中学校での授業を体験している。これらの行事を通して、中1ギャップが生じないように努めている。

成果と課題

- 自らの学びや体験の蓄積ができ、自分の成長を振り返り、新しい自己の発見が実感できる。なりたい自己からなれる自己を広げることで、「自分の可能性が広がる」と考える。
- 小学校からのキャリアアルバムを中学校で活用することにより、中学校でのキャリア教育の際に、今までにどんな体験をしてきたのか、どんなことを学んできたのかを実態把握をすることができた。
- 児童は地域と共に生活しているが、地域のことを知らないことがあった。しかし、様々な体験活動をしたり、毎年継続して活動したりすることで、地域のことについての理解が深まり、人とのつながりも広がった。
- 体験活動の積み重ねにより、コミュニケーション能力が少しずつ高まってきた。
- キャリアアルバムの取り組み方や体験活動の視点など、校内の教員の共通理解をしっかりと必要があった。
- 自己肯定感や達成感を育むように、体験活動の仕組み方を工夫したり、もっと一人一人への励ましの声かけをしたりをしていく必要があった。